

# 梅津 1学期末学校評価号

KYOTO UMEDU PUBLIC ELEMENTARY SCHOOL

令和3年9月24日  
京都市立梅津小学校  
校長 濑川 葉子

豊かな心

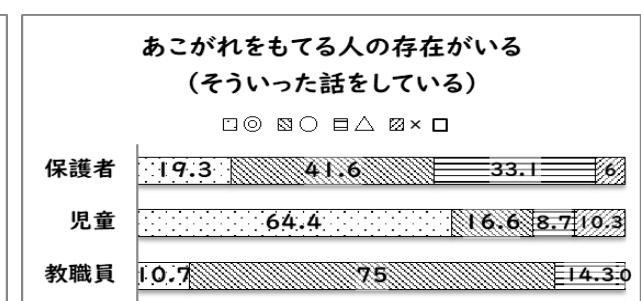
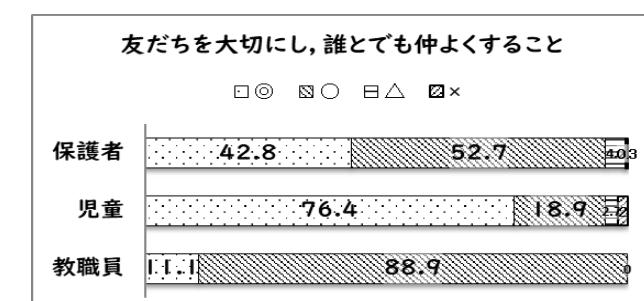
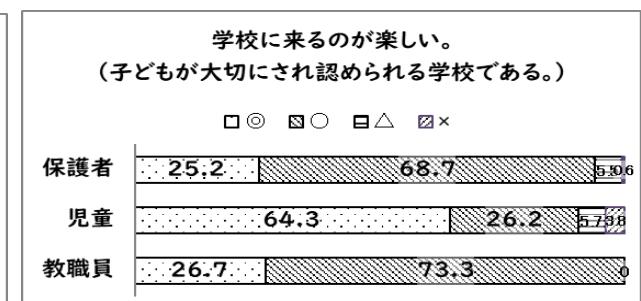
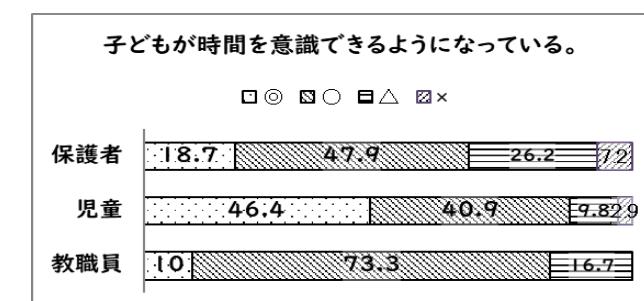
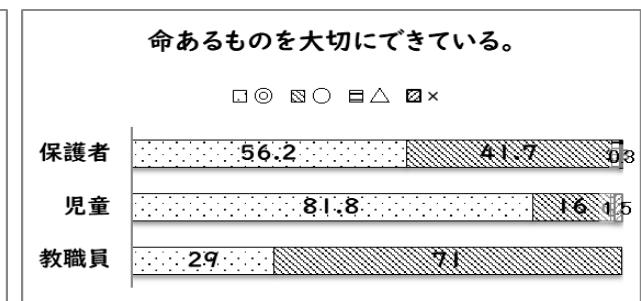
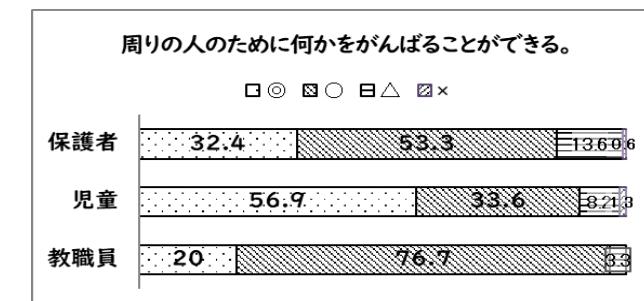
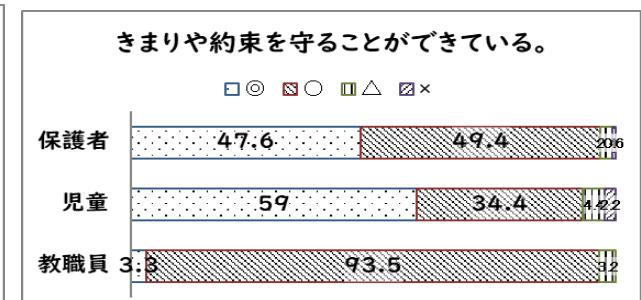
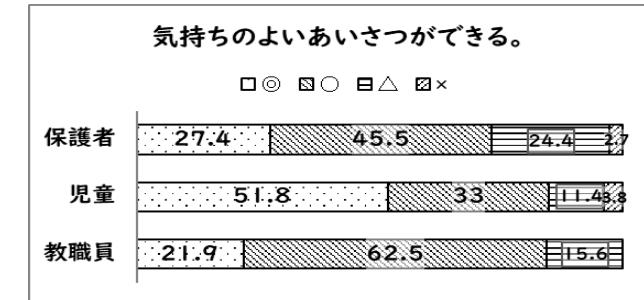
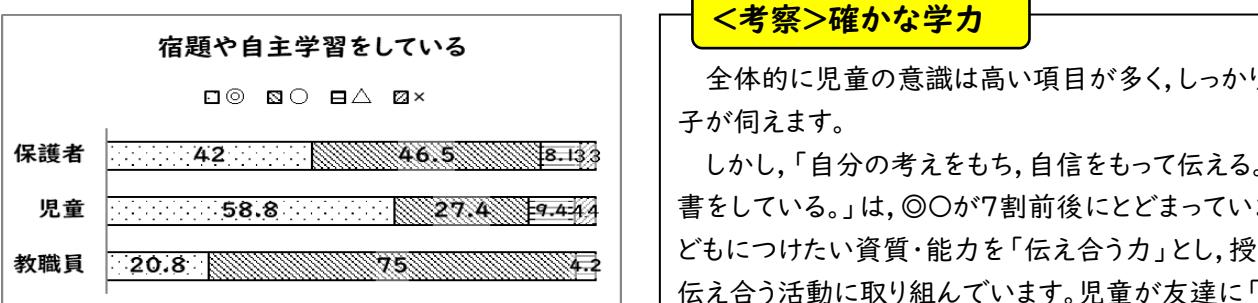
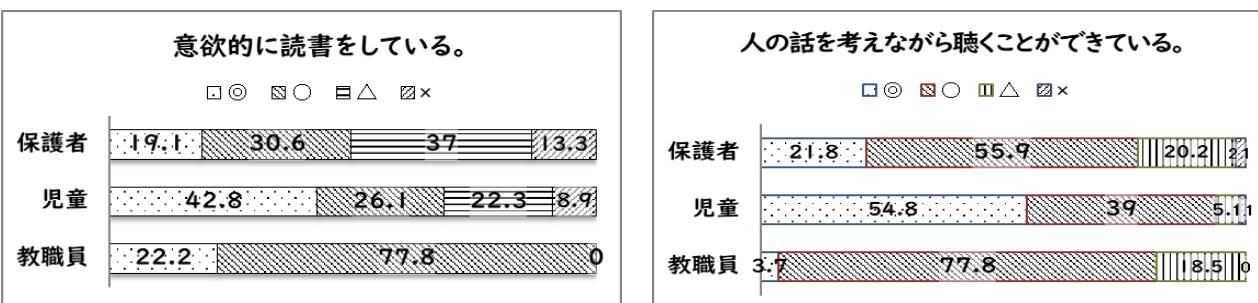
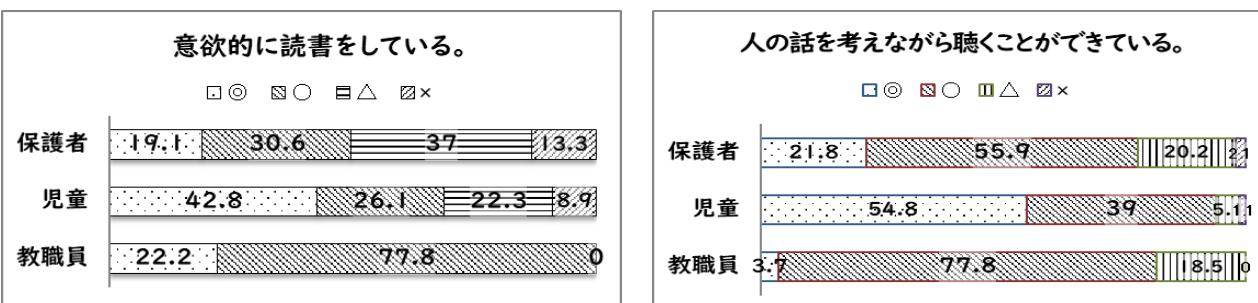
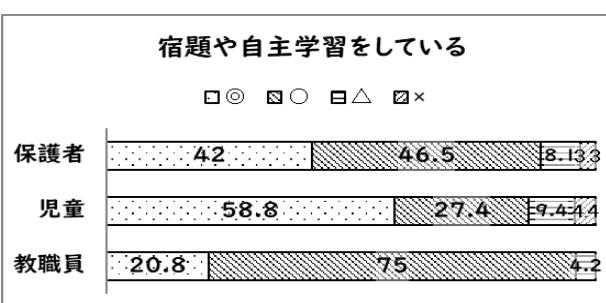
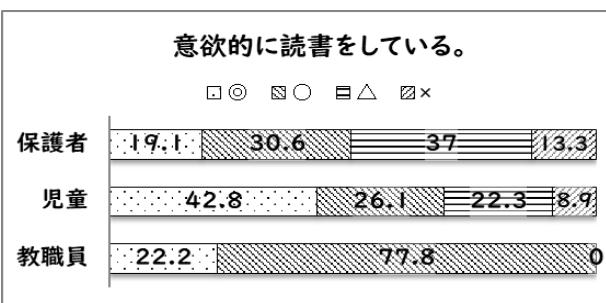
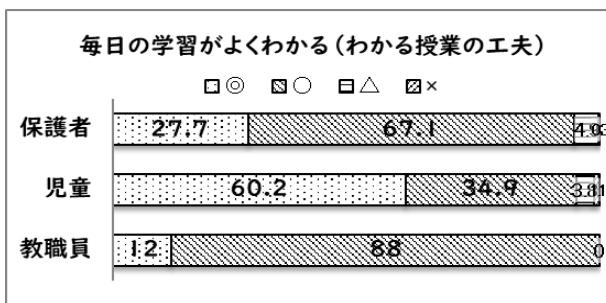
## 臨時号 学校評価アンケート(7月・1学期末)の結果より

7月に実施しました「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

学校教育目標・基礎学力定着・道徳教育など、梅津小学校教育を進める上で、特に大事にしたいことに絞ってアンケートをとり、保護者・児童・教職員の3者の比較ができるようにしました。保護者の方・児童にはどれだけできているかの「実現度」を、教職員にはどれだけ指導をしているかについての「実現度」を尋ねました。

グラフについては、全て棒の左から○、△、×の評価で表しています。○・△が「そう思う・だいたいそう思う」、△・×が「あまりそう思わない・そう思わない」です。

### 確かな学力



<考察>豊かな心

「あいさつ」の項目に関しては、児童の意識と保護者の方、教職員の感じ方に、やや開きがあります。高学年の計画委員による「あいさつ運動」などにより、あいさつの輪は広がってきていると感じます。特定の人のみならず、他者意識・相手意識をもって、進んでコミュニケーションをとる大切さを伝えていきたいと思います。

「きまりや約束を守る」の項目に関しては、保護者・児童の満足度は高いのですが、教職員の受け取り方はやや低いです。これはより規範意識を高めたいといった思いからです。学校・地域・社会それぞれで求められる規範意識の醸成に努めていきたいと思います。

## 健やかな体

基本的生活習慣が身についている。

(早寝早起き・朝食)

◎ ○ △ ×

保護者

39.3 45.4 134.8

児童朝食

81.3 12.9 416

児童早寝早起き

37.7 40.8 15.65

教職員

10.7 78.6 10.7

進んで体を動かしたりスポーツ活動に参加したりしている。(指導している。)

◎ ○ △ ×

保護者

42.6 34.9 19.4 31

児童

56.9 22.9 12.8 74

教職員

14.8 77.8 7.4

## 連携

子どもの成長や課題の共有

◎ ○ △ ×

保護者

22.7 64.7 11.5 12

児童

46.2 35.2 12.2 64

教職員

40.7 55.6 3.7

### <考察>健やかな体

基本的生活習慣について、「朝食をとる」項目に関しては、保護者・児童の数値とも9割近くとなりました。

「早寝早起き」「朝食の摂取」「運動習慣」など、良い生活習慣をついている児童は学力も高いと考察されています。今後も大切にしていくだければと思います。

一方、早寝早起きに関しては、課題があります。特に携帯機器・ゲーム機を寝床に持ち込んで就寝時刻が遅くなるといったことも耳にします。どうぞ、児童が寝られる環境を作っていただきたいと思います。

### <考察>連携

学級・学年だよりやホームページでより細かな様子を発信しています。今年度は、年度初めの学級懇談会も実施できず、担任と保護者が直接話す機会が減っています。ご質問ご意見がございましたら、些細なことでも結構ですので、遠慮なくお問い合わせください。

## ～自由記述欄より～(⇒部分は学校側の見解です。)

□ 登校班で集合の際、あいさつができないなあと感じます…。もう少し元気が良いと嬉しいです。

□ 朝、旗当番の時に自ら「おはようございます」と言える子が1人もいません。大人から声をかけると返ってはきますが…。今日は何人の人に自分からあいさつてきた?とゲーム感覚であいさつ競争などをしてみてはどうでしょう。

□ どの先生にもお手本となる挨拶をしていただきたいと思います。

⇒校内では進んであいさつできる子が増えていますが、地域ではまだ課題が残ります。高学年があいさつの見本となり、あいさつ運動も行っています。よりよいあいさつができるように取組を進め、大人からも進んで声をかけ、お互いに気持ちのよいコミュニケーションを大切にしていきたいです。

□ 日々の子供の勉強(授業内容)を見ないと分からずあります。世間の状況などもあり、むずかしいとは思いますが参観なども実施していただきたいです。

□ コロナの状況下でも、個人面談や授業参観を行ってほしいです。オンラインでの面談も可能だったと思います。

⇒今年度は授業参観がまだ行えていません。今後、社会情勢がどうなるか分かりませんが、少しでも授業等を参観して頂く機会を設けることができればと考えています。

□ 緊急事態宣言が出て、学期最初の個人懇談がなくなったとき、何のフォローもないのが気になった。他の学校では、電話や書面でのやりとりがあったと聞きました。

□ コロナのおかげで先生との交流が少ないので学校での様子を個別に連絡帳などで月1回でも知らせてほしいです。

⇒学級通信、ホームページ等で学校の様子ができるだけ伝わるようにしていきたいと思います。担任と直接話す機会が減っていますので、普段の様子や些細なことでも気になることがありましたら、遠慮なくお問合せください。

□ コロナウイルスでの休校期間から、家で過ごす際、とりあえずゲーム、YouTubeを見る時間がものすごく増えたように感じます。家でのきまりやルール等話し合っていますが、学校でももしよければ何かアドバイス等あれば先生方から言ってください。すんなり聞き入れるのではないかと思っています。

⇒学校でGIGA端末(タブレット)を使う機会が増えています。活用時のルールやマナーの指導、情報モラルの学習も実施していますので、ご家庭と協力して正しく使う力を高めていきたいと思います。

□ 梅津小のホームページを楽しく見せていただいている。学年によって更新にかたよりがあるので、増やしていただけたらと思います。

⇒どの学年も子どもたちの学校での様子をお知らせするために、積極的に更新していきたいと思います。

今回、回答していただいたアンケートの結果から、「わかる授業の工夫」「規範意識」など、満足度が高い項目もあれば、「自分の考えを伝えること」「考えながら聴くこと」「あいさつ」など、課題が残る項目もあります。また、コロナ禍においてできない教育活動をどう工夫していくかも大切だと感じました。アンケート結果を真摯に受け止め、学校としての組織的な改善につなげたいと思います。

今回いただいたご意見は全教職員で共有しております。継続するところは引き継ぎ、改善すべきところは具体的に改善するなど、よりよい梅津教育を進めていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

## ～「学校運営協議会」より、評価結果についてのご意見をいただきました～

- ・学習への意欲や理解度が高いのはよいことです。「自分の考えをもち、自信をもって伝える発表する」の項目が少し低いのが気になります。「伝え合う」授業でコミュニケーションの力を伸ばしてほしいです。
- ・豊かな心は、コミュニケーションの中で育まれていくと思います。地域の人間として、子ども達には積極的に声をかけていきたいです。
- ・子どもが自分で考え、作りだす過程は自由で面白いです。勉強も与えられるものをこなすのではなく、自分の考えで工夫していくことが学力の向上につながると思います。
- ・学校へ伺った時や、学校外でもあいさつをする児童が増えてきているように思います。
- ・学校に来るのが楽しいと全員の子どもが思えるように、子どもの気持ちに寄り添い、「学校が安心できる場所」と思ってもらえるようになればよいです。
- ・家庭内でのゲームやスマホの時間が増えやすい社会状況です。子どものゲームやスマホの依存を防ぐためにも学校だけでなく、保護者の積極的な関わりが必要と考えます。
- ・コロナ禍のため、読書に力を入れるには、良い時だが緊急事態宣言下でもあり、図書ボランティアとして、サポートをすることができず残念でした。家庭でも子どもが読書に興味や意欲をもつ工夫ができるとよいと思います。